法政大学出版局◉新刊　2015年4月

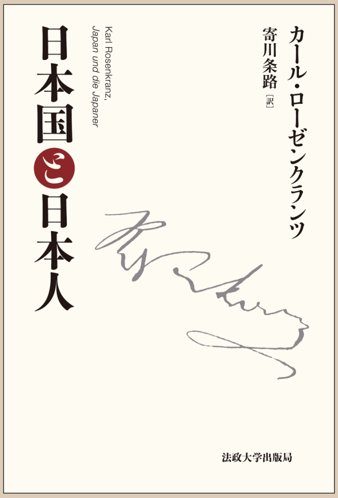
19世紀哲学者のとらえた「日本」の姿

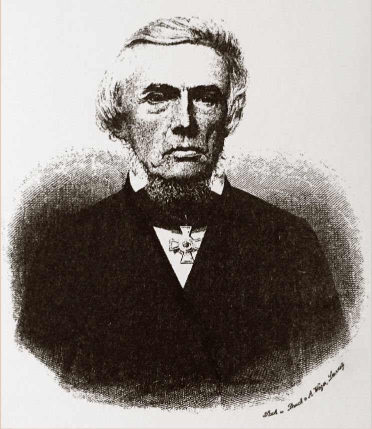
日本国と日本人

カール・ローゼンクランツ 著／寄川条路 訳

ヘーゲル学派の高名な哲学者・文化史家であるローゼンクランツ（1805-79）が，1860年にドイツで行った講演の初の邦訳。江戸幕末期までの日本の歴史・自然・文化を，当時西洋人が入手できた稀少な文献を用いて概観し，東洋の発達した“閉鎖商業国家”が〈世界史〉の舞台に登場してくる歴史的瞬間を記録したテクスト。若き森鷗外が評価して以後，長らく忘れられてきた出色の日本論。

四六判／上製／182頁／定価2,000円＋税／ ISBN978-4-588-31622-7 C1020





◉著者――カール・ローゼンクランツ（Karl Rosenkranz）

1805–1879年。ヘーゲル学派に属するドイツの哲学者。マグデブルクで生まれ，ベルリン大学，ハレ大学，ハイデルベルク大学で神学と哲学を学ぶ。1828年にハレ大学で教授資格を取得し，31年にハレ大学の准教授，33年にケーニヒスベルク大学の教授となり，きわめて広汎な著作活動を展開して，文化と学問の発展に貢献した。おもな著作に『神学的諸学のエンチクロペディー』，『教育学の体系』，『学問の体系』，『醜の美学』（邦訳：未知谷），『論理的理念の学』などがある。伝記には『カント哲学の歴史』，『シェリング講義』，『ヘーゲル伝』（邦訳：みすず書房），『ゲーテ伝』，『ディドロ伝』などがある。

◉訳者――寄川条路（よりかわ・じょうじ）

1961年，福岡県生まれ。ドイツ・ボーフム大学大学院修了，文学博士。現在，明治学院大学教授。専門は思想文化論。和辻賞，日本随筆家協会賞などを受賞。著書に『東山魁夷――ふたつの世界，ひとすじの道』（ナカニシヤ出版），『新版　体系への道――初期ヘーゲル研究』（創土社），『ヘーゲル『精神現象学』を読む』（世界思想社）ほか多数。

切り取って最寄りの書店にお渡し下さい

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3 法政大学出版局 TEL03-5214-5540／FAX03-5214-5542

注文書

日本国と日本人

ISBN978-4-588-31622-7
定価2160円（本体2000円＋税）

▶2015年4月発売　（　　冊）

書店名・番線

お名前：　☎

ご住所：〒